

ふくい女性ネット REPORT

ふくい女性ネットとは…

県内の企業、事業所、団体等で活躍中の女性が、相互交流、自己研鑽、企業等における女性の活躍促進を目的として、講演会や交流事業、情報発信事業に取り組んでいます。

<http://pref.fukui.lg.jp/doc/danken/f-net.html>

第7期の活動もいよいよ後半戦へ。7月には「論理的説明実践」、8月には「ワーク・ライフ・バランス」を学び、メンバー同士も活発に意見交換が出来るようになりました。そして9月から始動した仮想プロジェクト。今年のテーマは「里芋を使ったビジネスプラン」です。これまで身につけたスキルを活かし、真剣に取り組んでいきます。

ビジネススキル講座「論理的説明実践」



講師の実体験を聞きながらの楽しい講座

りと実践しながら、講師からアドバイスを受けました。

論理的に説明することで、発言の説得力を高め、分かりやすく相手に伝えることができます。しかしすぐにできるものではなく、日々、学んだポイントを意識しながら話したり書いたり、多くの経験を積むことが大切なのだと感じました。講師のユーモアあふれる講義に楽しみながらも、いままでになく頭を使う講座でした。

(担当:小角・仲山)

平成26年7月8日(火)、株式会社 Woomax 佐野愛子氏を講師として、相手に論理的に分りやすく「伝える」、「書く」ためのポイントを実践しました。

まず、話の流れにつながりがあり、まとまりのあるものにするために必要なことは次の3点であることを学びました。

- 1 意見と事実を切り分けること、
- 2 結論と根拠の結びつきを明確にすること
- 3 話の要素に抜け漏れや重複がないようにすること

次に、分かりやすく「伝える」ポイントである、「最初に結論を伝える」、「重要度の高い順に要約して話す」、「5W1Hを入れる」を、実際に話したり、書いた

お茶の水女子大学講義「ワーク・ライフ・バランス」

8月8日(金)、お茶の水女子大学 人間文化創成科学研究科 斎藤悦子准教授から「ワーク・ライフ・バランス」について講義頂きました。仕事と生活の調和を考え、働き方を見直す「ワーク・ライフ・バランス」は、私たちにはとても大変興味深いテーマでした。

「ワーク・ライフ・バランス」を実現するために重要なことは次の3点です。

1. 男性の収入労働時間を短縮し、家事労働時間を増やす
2. 女性の過重労働(収入労働+家事労働)の見直し
3. 女性の社会的・文化的時間の創出(2の解決が不可欠)



本音で話し合えた意見交換会

福井県は共働き率が全国1位であり、その分女性の労働時間も長く、地域特性を活かした「ワーク・ライフ・バランス」を考えていく必要があるということを知りました。

講義後、斎藤准教授を囲んで、和やかな雰囲気のもと、各自分析した生活時間の使い方について意見交換をしました。メンバーのほとんどが、収入労働+家事労働時間の合計が10時間を越し、これは全国平均をはるかに超える結果でした(やはり福井の女性は働き者のようです)。

また、メンバー一人ひとりの家事や仕事時間の短縮のための工夫がとても参考になり、私のこれからの転機や問題解決の際のヒントになりました。

(担当:小川陽)



丁寧に解説して頂いた斎藤准教授



仮想プロジェクト①「プロジェクトの進め方」



9月12日(金)、仮想プロジェクトがいよいよスタート! 「仮想プロジェクト」は、提示された課題の解決方法を、グループで企画立案し、プレゼンテーションまでを実践する5回シリーズの講義です。

今年の課題 「里芋を使ったビジネスプラン」



里芋に興味津々のメンバー

講義に先立ち、JA テラル越前の里芋選別所を見学し、宮澤浩一さんから里芋の生産についてお話を伺いました。「奥越のさといも」は、“煮崩れない里芋”として知られていますが、その硬さの秘密は、奥越の土壌と気象にあります。選別所近くの畑には、里芋の葉が大人の背丈ほどに成長しており、里芋畑を初めて見るメンバーは大変驚いていました。

次に、福井県食品加工研究所の小林恭一所長から、里芋の特徴や

成分についてお話していただきました。里芋のぬめりは、健康に良い成分で、生活習慣病や肌の保湿にもいいそうです。また、皮をむくのではなく、外側の皮だけこそげて調理すると食物繊維を多く取ることもできる健康野菜だと教えていただきました。(担当:武川)



講師の小林恭一所長

仮想プロジェクト グループワークスタート!



熱心にご講義頂いた林講師。メンバーも真剣そのもの。

後半は株式会社電通の林信貴さんから、「アイデアづくり」について講義頂きました。アイデアとは『現状の変化を起こすために人間が協力して生み出す知恵や工夫』で、アイデアを生み出すためには、

- ①思考回路の型を持つ ②現状分析、的確な課題設定 ③時には結論から考えてみる ④たくさん出す、質より量 ⑤ブレインストーミング

この5つを意識するとよいとのことでした。

そして、『里芋の売り出し方』について、アイデアを出し合い、グループごとに簡単に発表を行いました。コンビニでの商品展開やB級グルメ開発、人気テレビ番組での紹介など、様々なアイデアが提案されました。

林講師からは、販売方法や味まで提案するなど、具体的な“成功イメージ”を持つこと、現実にアイデアが成立するかどうか検証することも大切であるとアドバイスを頂きました。各グループのこれからのアイデアから

企画への発展がとても楽しみです!

“アイデアのヒントは世の中を見ている私たちの中にあるはず”という言葉を意識し、世代、業種、家庭環境が異なるメンバー皆の力を最大限に発揮し、福井の里芋を盛り上げる素敵なアイデアを生み出していきます! (担当:新田)

一編集後記ー 9月からいよいよ本格始動した『仮想プロジェクト』。2月の発表に向けて、それぞれが成長した姿をしっかりと見せられるように、チームのメンバーと協力し切磋琢磨しながら頑張っていきます。

ふくい女性ネット (第7期) 参加企業 : ふくい女性ネットの趣旨にご賛同いただいた企業

- | | | | |
|--------------|-----------------|--------------|--------------------|
| 株式会社アイビックス | 株式会社アスワ村田製作所 | 株式会社エイチアンドエフ | 越前町 |
| 株式会社大津屋 | 株式会社 GAIA | 勝山市 | 株式会社キタジマ |
| 株式会社信越マグネット | 株式会社 SHINDO | 第一織物株式会社 | NPO 法人男女平等推進協会えちぜん |
| 株式会社東洋アライアンス | 永森建設株式会社 | 株式会社ネスティ | 福井赤十字病院 |
| 福井県 | (公財) 福井県文化振興事業団 | 福井県民生活協同組合 | 福井商工会議所 |
| 学校法人福井仁愛学園 | 株式会社福井新聞社 | 国立大学法人福井大学 | 福井経編興業株式会社 |
| 福井鋸螺株式会社 | 株式会社 PLANT | 株式会社ブリッジ | 北陸電力株式会社福井支店 |
| 松文産業株式会社 | ミリオン協同組合 | (30社 50音順) | |